

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築材料	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	「絵とき 建築材料」 著者名：赤石辰夫 他 出版社：オーム社／プリント資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	佐久間 達也			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的							
建築材料の基本的な知識を習得する。広範に渡る建築材料の種類・性質や、建物に使われる部位・施工方法などについて理解する。また、2級建築士試験に関わる内容にも触れると共に、材料サンプルを回覧して実物を見ることで理解を深める。							
到達目標							
建築に使われる様々な材料について概要を把握する。 建築材料のなかでも重要な木、コンクリート、鋼材の三つについては重点的に取り組み、理解を深める。							
教育方法等							
授業概要	教科書に沿って講義を進める。また、プリントによる補足を行う。 毎回レポート用紙を一人1枚配布し、授業時間内に書き、終了時に回収する。次回に返却する。 サンプルを回覧することもあるため、見たり触ったり匂いを嗅いだりして記憶にとどめるよう留意されたい。						
	配布されたプリントを毎回持ってくること。 講義を聞きながら、同時にメモを取る習慣を身につけること。 出欠状況は各自で記録し管理すること。授業中の私語、理由のない遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	50%	授業内容の理解度を確認し、評価するために実施する				
	小テスト	20%	授業内容の理解を深めるために実施する				
	レポート	30%	授業内容の理解を深めるために実施する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	概要説明 木材			木材の長所・短所と種類について			
2回	木材			木材の性質、合板・集成材について			
3回	石材			石材の種類、加工について			
4回	セメント・コンクリート(1)			セメント、骨材について			
5回	セメント・コンクリート(2)			コンクリートの長所短所、フレッシュコンクリートの特徴について			
6回	セメント・コンクリート(3)			コンクリートの調合、混和材料について			
7回	セメント・コンクリート(4)			コンクリートの物性、施工と養生について			
8回	コンクリート製品・鋼材			プレキャストコンクリートと鋼材の長所・短所について			
9回	鋼材			鋼材の性質、加工、形状の種類について			
10回	アルミ・ステンレス・タイル			アルミの長所短所、タイルの種類について			
11回	防水・確認テスト対策			防水の種類や構成に関する理解 木材・コンクリート・鋼材の復習			
12回	確認テスト・解説			木材・コンクリート・鋼材の復習（テスト解説）			
13回	ガラス・壁下地材・断熱材・塗料			ガラス種類、石膏ボード、モルタル塗、断熱材種類、塗料種類について			
14回	現代社会と建築材料			環境と建築、リサイクル、シックハウス、品確法について			
15回	前期のまとめ			これまでの復習と全体のまとめ			